

研究名：MICS 患者の術後リハビリテーションの特徴と胸骨正中切開患者との比較

所属（診療科）：リハビリテーション科

研究責任者（職名）：長谷川 哲也（理学療法士）

研究期間：2017年12月1日より 2019年7月30日まで

研究目的と意義：当院心臓血管外科では、様々な手術に対して低侵襲心臓手術（MICS）と胸骨正中切開手術が行われている。術後のリハビリテーションに関しては心臓血管外科医の指導の下、翌日より早期リハビリテーションを展開している。一般的に MICS は、手術における侵襲も少なく、術後の改善が早いと言われている。本邦における MICS 術後リハビリテーションに関する先行研究は存在するが、症例数が少なく十分な報告とは言い難い。当院においては、臨床的に MICS 患者では胸骨正中切開手術患者と比較して術後のリハビリテーションの進行が早く感じている。そこで本研究の目的は、MICS 患者の術後リハビリテーションの進行に関する特徴を明らかにし、心臓弁膜症に対する MICS と胸骨正中切開手術患者を比較し、手術の違いが術後のリハビリテーションにどのような影響を与えているのか検討することである。

研究内容：

- 対象となる患者さん：上記研究期間内に横須賀市立うわまち病院心臓血管外科にて心臓の弁膜症に対して手術を受けた患者さん。
- 研究方法：上記期間で心臓血管外科にて手術を受けた患者さんが対象となり、通常診療から得られた以下の情報を利用し、解析する。性別、年齢、身長、体重、BMI、診断名、既往歴、手術情報（術式、手術内容、手術日、手術時間、麻酔時間、人工心肺稼働時間、大動脈遮断時間）、APACHE II スコア、血液学的所見、心臓超音波所見、人工呼吸管理日数、術後リハビリテーション経過、術後在院日数、退院後の転帰先。
- 研究方法：本研究は横須賀市立うわまち病院による単施設での研究です。上記情報は通常診療で得られた情報であり、診療録より後方視的に調査する。また本研究で収集される情報には個人を特定できる情報は含まれません。

問い合わせ先：研究責任者

氏名：長谷川 哲也

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9：00～17：00（土日、祝・祭日を除く）